

船舶事故調査報告書

平成27年1月15日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	衝突（岩場）
発生日時	平成26年7月6日（日） 15時10分ごろ
発生場所	宮城県東松島市野蒜 ^{のびる} 海岸南東方沖 東松島市所在の大平山 ^{おおひらやま} 三等三角点から真方位304° 785m付近 （概位 北緯38° 21.1′ 東経141° 09.7′）
事故調査の経過	平成26年7月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ ^{エーエフ} AF-1、0.1トン 230-52183宮城、個人所有 2.85m (Lr) × 1.06m × 0.43m、FRP ガソリン機関、213kW、平成23年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 37歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成25年7月25日 免許証交付日 平成25年7月25日 （平成30年7月24日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船底外板に擦過傷、スポンソン脱落
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、野蒜海岸を発進し、平成26年7月6日15時10分ごろ、野蒜海岸南東方沖の岩場に衝突し、船長は落水した。 船長は、事故発生場所付近を遊走していた水上オートバイの操縦者及び航行中の漁船により救助され、病院に搬送されたが、16時47分、頭部外傷及び脳挫傷により、搬送先の病院で死亡した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、海面水温 約25℃
その他の事項	船舶所有者は、本船での遊走を終えて帰り仕度を行っていたところ、顔見知りの船長から本船を貸してほしい旨の申出があったが、船長所有の水上オートバイと大きな出力差があるので断っていた。 船長は、水上オートバイの操縦経験が約1年あり、事故当時の体調

	<p>に異常な様子は見受けられなかった。</p> <p>船長は、海水パンツを履き、固型式の救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、野蒜海岸南東方沖において遊走中、岩場に衝突したものと考えられるが、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、本船が岩場に衝突した際、頭部を負傷したものと考えられるが、負傷するに至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、野蒜海岸南東方沖において遊走中、岩場に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>